東山クリーンセンター基幹的設備改良工事　第２回質問回答書

平成 25 年 12 月 25 日

平成25年12月19日までにありました東山クリーンセンター基幹的設備改良工事の入札条件書等に関する質問事項について、下記のとおり回答します。

記

NO	資料名	頁	項　　目	質　問　等	回　　答
1	第１回質問回答書(改訂版) 質問その1	P2	質問10の回答「工事中における施設の所有権」	質問回答に工事中における施設の所有権は受注者に有るので、工事中の施設管理は受注者側の所掌です。とありますが、所有権の移転はなく、又改良工事をしていない炉の施設管理はお客様の所掌と考えてよろしいでしょうか	第１回質問回答書の№10における回答のとおり、工事中（着工から竣工まで）の施設管理は、工事請負業者です。
2	第１回質問回答書(改訂版) 質問その1	P3	質問 17 の回答「竣工図書等必要な図書の開示」	見積設計を作成するために必要な、以下の図面を貸与願います。(見開きＡ３版、貸与期間：３日間) ①施設全体配置図(最新版) ②動線計画図 ③各階機器配置図(B3FL,B2FL,BIFL,1FL,2FL,3FL,4FL,5FL,PHFL) ④工場棟縦断面図((1),(2),(3)) ⑤ごみ・灰・空気・排ガス系統図 ⑥排水処理系統図 ⑦ボイラ給水・蒸気・復水系統図 ⑧上水・冷却水系統図 ⑨排ガス処理系統図 ⑩純水装置系統図 ⑪その他系統図 ⑫単線結線図 ⑬焼却炉組立図 ⑭炉本体鉄骨 ⑮炉体ケーシング ⑯耐火物築炉図 ⑰ストーカ ⑱ストーカ駆動装置 ⑲計装系統図 ⑳土木・建築図面 ⑳既設の CO2 発生量計算書 ⑳建屋の構造計算書	見積設計図書作成に必要な資料等は、すべて開示します。開示日時は、担当と調整してください。

NO	資料名	頁	項　　目	質　問　等	回　　答
3	第1回質問回答書(改訂版) 質問その1	P3	質問21の回答「既設のプラント機器も含めて性能保証」	基幹的設備改良工事を行わない機器も含めて性能保証することとありますが、下記のような場合は、保証の対象外と考えますがこの考えで良いかご確認願います。 ①改良工事を行わない機器の消耗部品、定期交換部品が摩耗した場合、または寿命に達した場合 ②取扱説明書に記載の運転方法、取扱方法で運転・取扱がなされなかった揚合 ③不注意な運転、誤操作があった場合④投入不適物(爆発物)や異物を投入した場合 ⑤自然災害などの不可抗力に起因する場合	引渡性能試験では、改良工事以外の機器も含め、プラント全体の性能確認をします。 ただし、引渡性能試験が実施されるまでの間は、組合が適切な維持管理を行うものとします。
4	第1回質問回答書(改訂版) 質問その1	P7	質問35の回答「融雪設備(道路、建屋)」	質問回答に No.21 に記載のとおりです。ただし、「融雪設備(道路、建屋)」は除きます。は次のように解釈すればいいのでしょうか。「補助ボイラ」「余熱利用設備」「SAH」「減温塔」「純水装置」「無機排水処理設備」の更新をするかしないかは、受注者の判断によるが、性能保証の対象とする。また、「融雪設備」を除くとは、更新対象とするかしないかは受注者の判断によるが、保証の対象外とする意味でしょうか?それとも更新工事自体から対象外という意味でしょうか。	本基幹改良工事の更新対象から除外しました。 ただし、受注者が整備、更新等が必要と判断した場合は工事対象とし、この場合は評価の対象となります。
5	第1回質問回答書(改訂版) 質問その1	P19	質問121の回答「工事完了の確認方法」	回答にある1炉目の工事完了の確認は、工事完了後、当該工事の動作確認、性能確認を行われるものと考えますが、具体的な確認方法についてご教示願います。	設計仕様書 第6章性能保証における「(2) 引渡性能試験の方法」で行ってください。
6	設計仕様書	P9	基幹的設備改良工事の工事工程	1炉目を何年何月までに工事完了すること。などの工程を組む上での条件はありますか。	工事請負業者の案を提示し、当組合と協議してください。
7	設計仕様書	P22	10.プラントの運転条件 (1)通年運転①	プラントは、原則として 24 時間連続運転とする。の意味ですが、定格負荷で運転すると、ごみピットが空になるようなごみ量が少ない月には1炉運転で軽負荷で 24 時間連続運転を行うことを優先して操炉を行うという意味でしょうか。	ごみの搬入と関係しますので、当組合と協議してください。

NO	資料名	頁	項　目	質　問　等	回　答
8	設計仕様書	P24	図4　周辺状況図	旧炉の状況図が添付されていますが、現在の状況図を頂くことは出来ませんか。	現施設の竣工図書を開示するので、参照してください。
9	設計仕様書	P25	2.4設計の前提条件、1)設計方針、(5)ごみ処理の安定性	年間を通じ、気候、昼夜の別なく、支障なく運転稼働できる施設とするとありますが、冬場における各機器の凍結防止を考えるうえでの最低気温はどのくらいを想定しておけばよろしいでしょうか。	現場説明会(12 月 12 日)に、開示した資料を参照してください。 最低気温、積雪量、凍結震度に係わる資料
10	設計仕様書	P34	図8タービン棟配置計画図及びごみ・灰搬出入経路	添付された図面では搬入路や工場棟、駐車場が一部消えているので、消えていない図面を頂くことは出来ませんか?	現施設の竣工図書を開示するので参照してください。
11	設計仕様書	P59	11.1低圧蒸気復水器	エジェクターを使用する方式となっていますが、排気復水タンク、排気復水ポンプの不要な真空ポンプ方式で計画してもよろしいでしょうか。	本工事は性能発注方式なので､比較表等を作成し、最も適切な方式を採用してください。
12	設計仕様書	P70	3.全体計画、1)設計方針、(6)	第1章第12節第2稿に示す長寿命化計画(施設保全計画)に反映すること。とありますが、第1章第12節が見当たりませんのでご教示下さい。	施設保全計画は、国の手引書に準じて作成し、竣工６ヶ月前までに提出してください。
13	設計仕様書	P93	図9タービン棟敷地	旧炉の敷地図が添付されていますが、現在の敷地図を頂くことは出来ませんか?	現施設の竣工図書を開示するので、参照してください。
14	設計仕様書	P94	図10既存ユーティリティー図	旧炉の配置図にユーティリティー取り合い位置が記載されていますが、現在の配置図に記された図面を頂くことは出来ませんか。	現施設の竣工図書を開示するので、参照してください。
15	設計仕様書	P99 (p115)	5,3予備性能試験(6.1、(3)予備性能試験)	予備性能試験は、3日以上とありますが、2炉同時運転のもとで、3日以上運転しその間に、2日目に1号炉、3日目に2号炉というように行うのでしょうか?それとも各炉1炉運転下で、3日間(各炉1.5日つつ)運転しその間に性能を確認するのでしょうか。	予備性能試験は、1 炉毎に行い、引渡性能試験は２炉同時に行うものとします。
16	設計仕様書	P99 (p115)	5,4引渡性能試験(6.1,1)、(1)引渡性能試験の条件)	99 頁では、1 日前から全炉定格運転に入り 3 日間以上の連続運転をするとありますが、115 頁では引渡性能試験は 1 炉運転を原則とし、とあります。どちらが正しいのでしょうか。	前記№15 回答のとおりです。

NO	資料名	頁	項　　目	質　問　等	回　　答
17	設計仕様書	P123	(4)騒音防止条件、 ③騒音基準値	敷地境界線上において･…とありますが、本施設の敷地境界を明示した図面を頂けないでしょうか。	現施設の竣工図書を開示するので参照してください。
18	設計仕様書	P146, P154	表7機器仕様と経過年数	表中の設置年度で新設とある機器の仕様はあくまで参考値で、各社で提案するものと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
19	設計仕様書	P56	9.ボイラ設備 ボイラ本体の管について	ボイラ設備では、更新対象にボイラ給水ポンプしか入っていませんが、ボイラ本体や過熱器の管が減肉している可能性があります。今までに管肉厚を計測したデータ及び管のメンテナンス履歴がありましたら、開示願います。	開示します。 開示日時は、担当と調整してください。
20	精密機能検査報告書	P76	表 II-3-8(2) 運転処理状況	1 号炉、2 号炉とも日平均焼却量が定格(65t/日)を下回っている原因は何でしょうか。	ごみピットのごみ残量により、運転調整を行った結果です。
21	設計仕様書	P36	･蒸気タービン(背圧式)用配管について ･高圧蒸気復水器、タービン排気復水器配管について	蒸気タービンを背圧式から復水式に更新するため撤去とありますが、現在の蒸気タービンの入口蒸気配管、出口排気管の撤去範囲はどこまでと考えればよろしいでしょうか。 また、高圧蒸気復水器用配管、タービン排気復水器用配管の必要撤去範囲についてご教示下さい。	誘導発電機廻りから復水器入口までの配管のうち、維持管理上支障になるものはすべて撤去してください。
22	設計仕様書	P38	プラント用電子計算機 ･運転支援処理装置 ･管理用処理装置	燃焼装置、蒸気タービン、蒸気復水器等を改造更新することによる制御システム改造、変更が工事範囲にありますが、既存のシステムに今回追加するシステムを組込むことでよろしいでしょうか。	質問のとおりですが、制御システムのソフトの機能上、制御システム全体の更新が必要であれば行ってください。
23	設計仕様書	P100	5.8予備品・消耗品の納入	予備品・消耗品を納入する必要のある機器は、今回の基幹改良工事で更新する機器が対象で、基幹改良工事対象外機器については納入する必要はないものと考えますが、よろしいでしょうか。	そのとおりです。
24	設計仕様書	P32	白煙防止装置	白煙防止装置は使用停止となっていますので、関連機器(白煙防止空気加熱器、白煙防止ファン、白煙防止及空冷壁ダクト)の撤去は必要なしと考えていますが、よろしいでしょうか。	そのとおりです。

NO	資料名	頁	項　　目	質　問　等	回　　答
25	設計仕様書	—	設計仕様書のファイル要求	現在平成25年12月12日付けの設計仕様書の書類が配布されていますが、ワード形式のファイルでは頂けませんでしょうか。	提示します。
26	現地説明会質問事項	—	総合評価について	本事業は総合評価にて事業者を決定される事は承知しておりますが、「総合評価方式技術審査委員会」の審査委員の方々は入札参加者の公平性を期すために入札までに公表されるとの理解でよろしいでしょうか。	本事業に関わる技術審査委員会の規定により公平な評価を行うため、非公開としています。 契約が完了後に、公表します。
27	現地説明会質問事項	—	見積設計図書	提出する見積設計図書について、A4パイプ式ファイル綴じでよろしいでしょうか。	ファイルの仕様は自由とします。
28	現地説明会質問事項	—	配布資料3 見積設計図書(概要版)	概要版に記載する文字の大きさ(フォント)については、ご指定ないものとの理解でよろしいでしょうか。	そのとおりです。
29	現地説明会質問事項	P7	配布資料3 見積設計図書(概要版)	運営管理的要素に「運転管理の必要人員」について記載する項目がありますが、現在は組合職員の方々にて運転されていますが、ご質問の主旨についてご教示願います。	改良工事後の運転管理は、引続き直営としていく方針ですが、発電設備が別棟となることから、今後の運転管理の参考とするためです。
30	配布資料3 見積設計図書(概要版)	P10	7.経済性 1.運営経費	「職員数」について記載する項目がありますが、ご質問の主旨についてご教示願います。また、現在の運転管理、保全管理に従事している職員数についてご教示願います。	前記№29 回答の通りです。 従事職員数は、設計仕様書に記載されています。

NO	資料名	頁	項　目	質　問　等	回　答
31	配布資料 3 見積設計図書(概要版)	P10	7.経済性 1.運営経費	ランニングコストを算出する為、現状の各用役名、単価および使用量をご教示願います。 ①電力量に関して、使用量(kWh/年)、基本料金単価(円/kW)、電力量料金単価(円/kWh)、売電料金単価(円/kWh) ②水道料に関して、上水料金単価(円/㎥)、下水料金単価(円/㎥)、平成 24 年度の年間上水、下水使用量(㎥/年) ③薬品費に関して、現在の使用薬品の種類、各薬品の単価(円/各 unit)、平成 24 年度の年間薬品使用量(各 unit/年) ④燃料費に関して、灯油の使用量(ℓ/年)、料金単価(円/ ℓ) ⑤ごみ処理量(t/年)	開示します。 開示日時は、担当と調整してください。
32	配布資料 11 契約約款	—	（契約の保証） 第4条	第 4 条は、(A)金銭的保証を求める場合と、(B)役務的保証を求める場合の 2 通りの記載がありますが、どちらを採用されるかご教示願います。	金銭的保証です。
33	第 1 回質問回答書 (質問その1)	—	第1回質問回答書	12月12日に開催された東山クリーンセンター基幹的設備改良工事に係る現地説明会で配布された資料の内、「第1回質問回答書」が貴組合ホームページに掲載の内容と異なっています。ホームページに掲載の「第1回質問回答書」が正しいものと考えてよろしいでしょうか。	12 月 12 日に開催された東山クリーンセンター基幹的設備改良工事に係る現地説明会で配布された資料、「第 1 回質問回答書」を、正式の質問回答書とします。

NO	資料名	頁	項　　目	質　問　等	回　　答
34	第1回質問回答書 (質問その1)		第1回質問回答書	第一回質問のご回答に則して設計仕様書が変更されていない下記項目については、ご回答が優先するものと考えてよろしいでしょうか。 No22 p21 8.焼却能力 No50 p49 3.4飛灰処理装置 No52 p50 3)飛灰処理コンベヤ (3)整備範囲 No76 p68 15,5塗装 No82 p73 (1)タービン棟③上部構造 No82 P78 ⑩ルーフドレイン No106 P96 5.1試運転 No106 P96 (5)必要経費 No106 P96 (5)必要経費②負荷運転開始以後に必要な経費 No111 P100 ②提出部数	そのとおりです。
35	第1回質問回答書 (質問その1)	№10	1)基幹的設備改良工事の進め方	「工事中における施設の所有権は受注者にあるので、工事中の施設管理は、受注者側の所掌です。」とありますが、基幹的設備改良工事対象機器が受注者側の所掌であり、その他の施設全体の所有権は発注者にあると考えます。このため、工事部分の安全管理を行うこととで「基幹的設備改良工事中における施設運営管理等の責任」を果たすと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
36	第1回質問回答書 (質問その1)	No.16	配置技術者調書	「現場代理人と監理技術者は別にしてください。なお、専門技術者の兼務は可とします。」とありますが、現地説明会で配布された「契約約款」の第10条5に「現場代理人、主任技術者及び監理技術者並びに専門技術者は、これを兼ねることができる。」とあることから、配置予定技術者の監理技術者と現場代理人は兼務することが可能であると理解してよろしいでしょうか。	第1回質問回答書の№16回答のとおりです。 現地説明会において説明のとおり、配布しました「契約約款」は、今後変更します。

NO	資料名	頁	項　　目	質　問　等	回　　答
37	第1回質問回答書(質問その1)	No.18	6.全体計画 3) 二酸化炭素の排出削減	「各機器のCO2の削減量についても、算出願います。」とありますが、機器単体での測定は行わず、各機器のCO2削減量は提出設計図書にある「CO2削減量・削減率計算書」にて算出するものと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
38	第1回質問回答書(質問その1)	No.21	7 1.発注方式	「本基幹的設備改良工事は、性能発注方式であり、基幹的設備改良工事を行わない機器も含めて性能保証することとなっています。」とありますが、基幹的設備改良工事を行わない機器については、施設の性能を確保するために必要な状態を保つための維持管理補修が発注者にて行われていると考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
39	第1回質問回答書(質問その1)	No.22	3.長寿命化(延命化)のための建屋の性能確認	①、②の現行法規の対応については、新設タービン棟の設計に適用するものとし、③の保証設計の適用については考慮しないものとしてよろしいでしょうか。 また、設計仕様書7頁3.長寿命化(延命化)のための建屋の性能確認で、「…現行設計法による保有耐力の確認をすること。」とありますが、70頁3.全体計画1)設計方針(6)「…「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・改修設計指針・同解説2009年改訂版」(国土交通省住宅局建築指導課監修)等の基準に基づいて耐震診断を行うこと。…」とある保有耐力の確認と同等と考えてよろしいでしょうか	第1回の質問回答書のとおりです。 また、12月12日の現場説明会で、説明したとおりです。
40	第1回質問回答書(質問その1)	No.23	1.5基幹的設備改良工事の進め方と工事範囲	「CO_2削減効果の検証は、2炉運転時に行ってください。」とありますが、年間を通じて1炉運転が大勢を占めるため、年間発電量が最大となる1炉運転相当をタービン発電機の設計点としてご提案する予定です。この場合、2炉運転時ではCO_2削減率が50%に達しないので、CO_2削減効果の検証は任意の1炉運転で行うことでよろしいでしょうか。なお、類似他物件でも実際の運転炉数にて交付申請を行っております。	予備性能試験において組合設計仕様のCO_2削減効果50%以上を検証します。 また引渡性能試験では、国庫交付金の交付条件であるCO_2削減効果20%以上(2炉運転)の検証をするものとします。

NO	資料名	頁	項　目	質　問　等	回　答
41	第１回質問回答書(質問その1)	No.39	1.1ごみピットゲート	「本基幹的設備改良工事では、CO2削減の有無にかかわらず、必要な部分の整備、更新を行ってください。」とありますが、現地説明会で配布された「表Ⅱ-5-2(16)北信保健衛生施設組合東山クリーンセンダーにおける調査結果」の「長寿命化案(15年)」欄に○印がないため、本基幹的設備改良工事での実施ではなく、別途発注者にて維持管理補修を行うと考えてよろしいでしょうか。	№4 の回答のとおりです。 契約方式が総合評価方式であることも考慮のうえ、整備等が必要か否かは設備の状況等を確認し、受注者が判断してください。
42	第１回質問回答書(質問その1)	No.40	1.2ごみクレーン (4)整備範囲 (2)走行装置(走行車輪含む)	「走行装置全体を更新してください。」とありますが、「走行装置(走行車輪含む)」とは走行用電動機、軸受、走行車輪のことで、ガーダーは含まれないと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
43	第１回質問回答書(質問その1)	No.41	1.2ごみクレーン(4)整備範囲 (3)バケット	「№35 に記載のとおり必要な部分の整備をお願いします。」とありますが、現地説明会で配布された「表Ⅱ-5-2(16)北信保健衛生施設組合東山クリーンセンターにおける調査結果」の「長寿命化案(15年)」欄に○印がないため、本基幹的設備改良工事での実施ではなく、別途発注者にて維持管理補修を行うと考えてよろしいでしょうか。	№41回答のとおりです。
44	第１回質問回答書(質問その1)	No.48	2,4ストーカ駆動装置	「№35 に記載のとおり必要な部分の整備をお願いします。」とありますが、現地説明会で配布された「表 H-5-2(16)北信保健衛生施設組合東山クリーンセンターにおける調査結果」の「延命化の内容等」欄には油圧シリンダの更新となっているため、「ストーカ駆動装置本体の整備」については、本基幹的設備改良工事での実施ではなく、別途発注者にて維持管理補修を行うと考えてよろしいでしょうか。	№41回答のとおりです。

NO	資料名	頁	項　目	質　問　等	回　答
45	第１回質問回答書(質問その1)	No.64	8.3集じん設備用圧縮空気供給装置 (4)整備範囲	「空気槽の安全弁、圧力計等の安全に関わるものについては、更新してください。」とありますが、現地説明会で配布された「表Ⅱ-5-2(16)北信保健衛生施設組合東山クリーンセンターにおける調査結果」で「集じん設備用圧縮空気槽」の判定が良となっているため、本基幹的設備改良工事での実施ではなく、別途発注者にて維持管理補修を行うと考えてよろしいでしょうか。	№41回答のとおりです。
46	第１回質問回答書(質問その1)	No.67	10.7タービン発電機冷却水冷却塔	「タービン発電機冷却水冷却塔は、新設してください。」とありますが、機器の統廃合に伴う冷却水量の変更により、既設工場棟に設置の冷却水冷却塔(更新)で処理可能であり、維持管理費用の増大にも繋がるため、本機器は設置しないものとしてよろしいでしょうか。	維持管理費の削減に効果があるならば、見積設計図書で提案してください。ただし既設の冷却水冷却塔は更新となっています。
47	第１回質問回答書(質問その1)	No.76	(1)車輌検出装置	「光電管以外についても、車両検出装置の機能を保証する上で必要であれば、その他の機器も更新してください。」とありますが、現地説明会で配布された「表Ⅱ-5-2(16)北信保健衛生施設組合東山クリーンセンターにおける調査結果」で「車両検出装置(ループコイル)」の判定が良となっているため、本基幹的設備改良工事での実施ではなく、別途発注者にて維持管理補修を行うと考えてよろしいでしょうか。	№41回答のとおりです。
48	第１回質問回答書(質問その1)	No.77	13.3計装用空気圧縮機㈲整備範囲	空気槽の更新については「№60に記載のとおりです。」とありますが、「集じん設備用圧縮空気槽」と同様、所見として特に支障は見受けられないと判断しますので、本基幹的設備改良工事での実施ではなく、別途発注者にて維持管理補修を行うと考えてよろしいでしょうか。	№41回答のとおりです。

NO	資料名	頁	項　　目	質　問　等	回　　答
49	第１回質問回答書(質問その1)	No.78	15.1空気圧縮機(３)整備範囲	空気槽の更新については「No.60 に記載のとおりです。」とありますが、「集じん設備用圧縮空気槽」と同様、所見として特に支障は見受けられないと判断しますので、本基幹的設備改良工事での実施ではなく、別途発注者にて維持管理補修を行うと考えてよろしいでしょうか。	№41回答のとおりです。
50	第１回質問回答書(質問その1)	No.100	⑪工事条件 ウ.残土処分	「可能な限り場内処分とし、場内処分が不可能な量を場外処分としてください。」とありますが、残土は場内のご指定場所までの搬送とし、発注者側にて場外搬送するものと考えてよろしいでしょうか。	受注者の工事所掌です。
51	第１回質問回答書(質問その1)	No.101	⑪工事条件 オ.仮設物	「監督員事務所については受注者にて判断のこと」とありますが、既設工場棟内の会議室等を利用することとしてよろしいですか。	契約後、当組合と協議してください。
52	第１回質問回答書(質問その1)	No.120	4.かし担保期間中の定期点検整備等の経費分担	「ただし、補修工事については、「5.10 かし担保保証」とします。」とありますが、基幹改良工事対象機器の範囲について行うことでよろしいでしょうか。	そのとおりです。
53	設計仕様書	P28	③囲障	囲障は設けないこととしてよろしいでしょうか。	必要性がないならそのむね、見積設計図書に記載してください。
54	設計仕様書	P35	表3機器の更新・新設一覧(1/5)2節6番焼却炉本体設備スタートバーナ	現在、スタートバーナは取付面の最上部に水平に設置されています。焼損防止のためには、仰角に設置することになりますが、安全上仰角に設置することは出来ません。従って、現在の取付角度が最善となるため、今回の基幹改良工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。	現状の状態で、必要であれば整備もしくは、更新してください。
55	設計仕様書	P47	2.5ストーカ下ホッパ及びシュート	「④後燃焼ストーカ下ホッパ・シュート」については、現地説明会で配布された「表Ⅱ-5-2(16)北信保健衛生施設組合東山クリーンセンターにおける調査結果」の「延命化の内容等」欄には該当箇所がないため、本基幹的設備改良工事での実施ではなく、別途発注者にて維持管理補修を行うと考えてよろしいでしょうか。	燃焼装置全体の計画の中で、必要であれば更新等を行ってください。

NO	資料名	頁	項　目	質　問　等	回　答
56	設計仕様書	P51	4)液体キレート貯槽	液体キレート貯槽については、現地説明会で配布された「表Ⅱ一 5-2(16)北信保健衛生施設組合東山クリーンセンターにおける調査結果」の「長寿命化案(15年)」欄に〇印がなく、且つ「判定」も良となっているため、本基幹的設備改良工事での実施ではなく、別途発注者にて維持管理補修を行うと考えてよろしいでしょうか。	№41回答のとおりです。
57	設計仕様書	P55	8.2減温塔ダストコンベア	コンベアの処理量は1,800kg/hと記載されていますが、現地説明会で配布された「表Ⅱ-5-2(16)北信保健衛生施設組合東山クリーンセンターにおける調査結果」に記載の概略仕様では800kg/hとなっています。処理量は800kg/hと考えてよろしいでしょうか。	性能発注契約であり、最適の処理量は、受注者が提案してください。
58	設計仕様書	P59	低圧蒸気復水器	第一回質問にて高圧蒸気復水器およびタービン排気復水器は撤去せず、不使用とする旨のご回答を頂いていますので、構造解析の結果に伴う高圧蒸気復水器等の撤去等は、今回の基幹的設備改良工事の範囲外と考えてよろしいでしょうか。	設計仕様書P7「3.長寿命化（延命化）のための建屋の性能確認」のとおり。構造解析の結果により、組合と協議する。
59	設計仕様書	P61	12.3動力設備(1)低圧動力制御盤ウ(コントロールセンター)	38頁 表3機器の更新・新設一覧表(4/5}にPLC更新の記載がありますが、本項に記載がありません。また、プラント用電子計算機更新時(平成 21 年度)に低圧動力制御盤(コントロールセンター)のPLC(1部 DI モジュールを除く)も合わせて更新していることから、PLC 更新については必要ないものと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
60	設計仕様書	P63	12.5受電ケーブルの更新工事	受電ケーブルを更新するためには、3 日間程度の停電期間が必要になりますが、場外熱供給の必要期間外で、土日等の休日を利用して施工することで、停電時の仮設電源の準備は必要ないものとして考えてよろしいでしょうか。	施工上問題がないのなら、そのとおりです。

NO	資料名	頁	項　　目	質　問　等	回　　答
61	設計仕様書	P65	13.3計装用空気圧縮機	現在設置されている計装用空気圧縮機(電動機出力22kW)の型式は、水冷、オイルフリー式で制御方式は自動アンロード式となっておりますが、同出力、同型式のインバータ式の空気圧縮機をメーカが生産しておりません。このため、既設と同出力、同型式の最新型を採用することで省電力化を図るものとしてよろしいでしょうか。	運転上問題がないのなら、そのとおりです。
62	設計仕様書	P70	3.全体計画 1)設計方針	「(6) 既存建築物の…耐震診断を行うこと。診断の結果…反映すること。」とありますが、補強が必要とされる場合は、補強計画の案のみで、補強設計及び補強工事等は含まれないものと考えてよろしいでしょうか。	補強設計は含むものとします。
63	設計仕様書	P85	4.2提出設計図書 1.見積設計図書 21)全連続燃焼式ストーカ炉の建設実績	建設実績については、入札参加資格条件の一つである、施設規模 I00t/日以上の全連続式ストーカ式焼却炉について記載するとの理解でよろしいでしょうか。	そのとおりです。
64	設計仕様書	P95	表4基幹的設備改良工事実施設計図書一覧表1,ター ビン棟等建築工事関係	「(7)パース」は提出しないものとしてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
65	設計仕様書	P107	(１)かし担保期間 ②プラント工事	「…可動部分、耐火部分、煙突構造物は2年間とする。」とありますが、可動部分、耐火部分等については使用に伴う劣化を伴うため2年間と定義されているものと理解致します。従いまして、2年間の起算日は、施設全体の引渡し日ではなく、1炉目の工事完了後の負荷運転に伴う起算日を別に設定して頂き、その日より2年間とする考えで宜しいでしょうか。	すべての工事竣工後、2年間とする。

NO	資料名	頁	項　目	質　問　等	回　答
66	設計仕様書	P115	(２)引渡性能試験の方法	「引渡性能試験方法は「表５東山クリーンセンター基幹的設備改良工事の性能試験項目と試験方法」を基準とする。」とありますが、表５は、性能試験項目と試験方法の一例を示すもので、「116 頁①ごみ処理能力および公害防止基準等」に記載されたア)からカ)の各性能保証項目と対応ずる試験項目について引渡性能試験を行うと考えてよろしいでしょうか。	第１回質問回答書№.125の回答のとおりです。 表５は、性能試験項目と試験方法の例を示しています。 設計仕様書の P.116 頁「①ごみ処理能力および公害防止基準等」に記載されたア)からカ)の各性能保証項目について引渡性能試験を行うこと。
67	設計仕様書	P116/121	2)保証事項 (2)性能保証事項 ①ごみ処理能力および公害防止基準等	別途ご提示いただいた分析データ等において性能保証値を超過している項目(熱灼減量等}は保証対象外とさせていただいてよろしいでしょうか。	設計仕様書どおり、性能保証事項とする。 　ただし、ごみカロリー値が設計基準を下回っていることが確認された場合は、保証対象外とする。
68	入札条件書	P40	誓約書	「対象となる情報は、貴組合から提供された基幹的設備改良工事に関する資料その他一切の情報とする。」とありますが、貴組合が他の応募者に開示する情報について、竣工図書の他どのようなものを想定されているのでしょうか。	応募企業が、必要とするもので、当組合が、所有しているものです。